

研究課題名「直腸癌他臓器合併切除標本の CRM の意義」に関する情報公開

1. 研究の対象

2006年8月から2018年12月までの間に当科で根治術を施行したcStage II/III 下部直腸癌119例中他臓器合併切除を施行した患者さん（20例）。

2. 研究目的・方法・研究期間

直腸癌に対する基本術式は腫瘍からの余白(surgical margin)を確保した過不足のない直腸間膜全切除(TME)です。特に環状切除断端(circumferential resection margin; CRM)は局所再発および全生存期間に関する強い予測因子であることが示されており、手術の質を評価する上で重要な項目であります。

しかし、他臓器合併切除(beyond-TME; b-TME)標本における CRM の意義についてはあまり議論されていません。

本研究は、当科の他臓器合併直腸切除術における CRM の意義を検討する目的で施行します。

本研究は上記対象症例の臨床情報を後ろ向きに解析することで行われ、研究期間は実施承認日から2021年12月31日までを予定しております。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：既往歴、手術記録、術後経過、病理情報、カルテ番号 等

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

名古屋大学大学院医学系研究科 腫瘍外科学

住所：名古屋市昭和区鶴舞町65番地

電話番号：052-741-2222

研究責任者：名古屋大学医学部附属病院消化器外科1 上原圭介